



脳ドック検診

脳の疾患は自覚症状がないことが多く、症状が出たときには緊急性が高くなり重症化しやすいことが特徴です。働き盛りの年齢に発症しやすいことも問題です。早期発見、早期治療につなげるために、脳ドック検診を受けましょう。

時 8月～令和6年2月末

所 秋田病院、富士病院

※医療機関は選択できません。

内 頭部MRI(磁気共鳴画像)、頭頸部MRA(磁気共鳴血管撮影)など

対 40歳以上の市民(昭和59年3月31日以前に生まれた人)で、会社などで受診する機会がない人

※過去3年の間に知立市の脳ドック検診を受診したことがある人は申込みできません。

※右記の①～⑨に該当する人は検診対象外となる場合があります。

※頭痛など気になる症状がある人は医療機関の受診をお勧めします。

定 250人(定員を超える場合は抽選)

¥ 1万円

※70歳以上の人(年度末年齢)は保険証提示により免除、障害者医療費受給者、精神医療費受給者、精神障害者医療受給者およびそれと同程度の障がいをもつ人は受給者証の提示により免除、市民税非課税世帯および生活保護法による被保護世帯に属する人は保健センターへ事前申請(※身分証必要)し、証明書を実施医療機関へ持参のうえ免除となります。



▲申込みフォーム

申 問 6月5日(月)～16日(金)に申込みフォームから申込み、または電話、直接保健センター(☎82-8211)へ。

※初日は電話が大変混み合います。先着順ではありませんので、期間内にお申込みください。

※抽選結果は全員に郵送でお知らせします。電話での問合せには対応できませんのでご了承ください。

※初回受診者を優先します。

※当選した場合、秋田病院は受診前の検査説明・検査日・結果説明の計3回、富士病院は検査日・結果説明の2回足を運んでいただくこととなります。

〈検診対象外の人〉

- ①心臓のペースメーカーや刺激電極が入っている
 - ②妊娠している、またはその可能性がある
 - ③閉所恐怖症である
 - ④現在脳血管疾患で治療中、または既往歴がある
 - ⑤避妊用具のペッサリーまたはリングを使っている
 - ⑥認知症等の症状がある
 - ⑦手術等により体の中に金属や機器の埋込をしている(人工関節、人工内耳、脳動脈瘤クリップ、ステントなど)
 - ⑧インプラント(埋込型入れ歯)やブリッジを装着している
 - ⑨刺青(アートメイクを含む)をしている
- ※⑦～⑨に該当する人は、施行した病院へ確認後にお申込みください。



知立市風しんワクチン(任意)予防接種助成事業

妊婦が妊娠初期に風しんにかかると、先天性風しん症候群と呼ばれる病気により、障がいをもった赤ちゃんが生まれる危険性があります。市では、先天性風しん症候群の発生防止を図るため、次のとおり風しんワクチンの接種費用の一部助成を行っています。

対 接種日現在、市に住民登録があり、風しんの抗体検査の結果、風しんワクチンの接種が必要と認められた人のうち次のいずれかに該当する人

①妊娠を希望している女性(妊婦を除く)

②妊娠を希望または妊娠している女性の夫などの同居者

※助成は1人につき1回のみです。

内 接種費用として対象者が負担した額に対して5,000円を上限に助成します。

・対象となる接種期間 4月1日～令和6年3月31日

市ホームページ▶



○抗体検査 自費となります。対象者①のうち、出産経験のない人およびその夫などの同居者(いずれも風しんワクチン接種歴、抗体検査歴がないこと)に該当する人は、県の助成対象です。事前に衣浦東部保健所(☎21-4797)へお問合せください。

申 令和6年3月31日までに抗体検査の結果、接種費用の領収書、接種日・接種ワクチン名・振込み口座がわかるものを持参して保健センターへ。申請書は市ホームページからもダウンロードできます。

※昭和37年4月2日～昭和54年4月1日生まれの男性は、「風しんの追加的対策(風しん第5期事業)」の対象となりますので、そちらをご利用ください。

問 保健センター(☎82-8211)

